

主催：コープあいちOB九条の会／くらしと平和・憲法を守る実行委員会

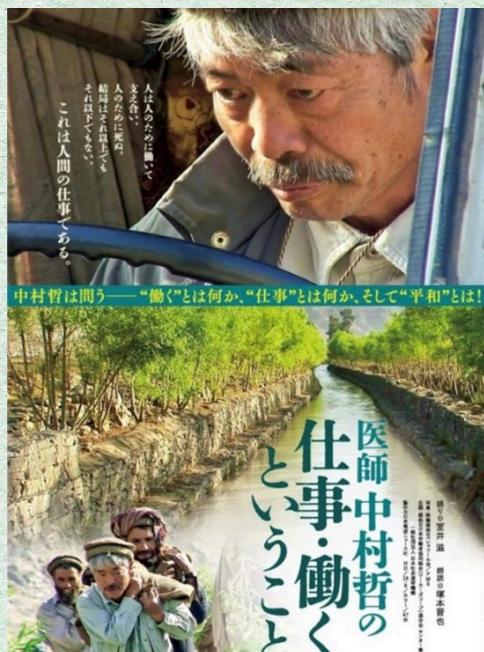
映画とハープとお話で紡ぐ 平和への想いとたすけあい

戦後そして被爆 80 年の今年も残念ながら世界各地での戦禍はとどまるところなく続き、核兵器使用の危機も懸念されていますが、だからこそ平和を守る運動の一層の推進が求められています。

その中で開かれる今回のOB九条の会『定期総会記念企画』、一緒に核兵器をなくし平和への想いをつなぎ広げる機会にしていきましょう。

映画上映

今なお戦禍が続くアフガニスタンで、現地の人たちと一緒に平和なくらしを求めて活動をすすめてきた、中村哲さんの生前の様子を紹介する映画「働くということ」



お話

アフガニスタンから現在はコープあいちで働いているレウルさん



演奏

アイリッシュハープ奏者の森下由比さんの心やすらぐ演奏

2025 12/20 土
14:00-16:00 [13:30開場]
場所 コープあいち生協生活文化会館
(本山) 4階

参加費
500円

こちらのQRコードよりお申し込みください ▶

または コープあいち組合員活動支援部 052-703-6055 まで
*当日参加も可能です。





中村 哲さん（医師）

この映画は、生涯をかけてアフガニスタンの現地の人々とともに現地の人々のために働いた中村哲医師の軌跡を通して「働く」とは何かを考えるもので

す。中村さんは憲法9条についてこう語っています。

「向こうに行って9条が僕らの活動を支えてくれる、という実感がありますよ。体で感じた想いですよ。武器など絶対使用しないで平和を具現化する。それが具体的な形として存在しているのが日本という国の平和憲法9条ですよ。それを現地の人たちもわかっていてくれるんです。だから政府側も反政府側も、タリバンだって我々には手を出さない。むしろ守ってくれているんです。9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが本当の日本の強みなんです。」

このように語り、日本国憲法第9条(不戦条項)の堅持を主張しています。（中村さんは2019年に武装勢力による銃撃で亡くなられました。）

レワル ラフマトゥラさん

レワルさんはアフガニスタンから2021年に名古屋にきました。ご縁があってcopeあいちの配達補助の仕事につきました。2024年、3年ぶりにご家族を呼び寄せることができ、現在はご家族と一緒に生活をしています。



森下 由比さん（アイリッシュハープ奏者）

幼少期よりピアノを始め、金城学院中学校、高等学校ではハープアンサンブル部に入部、金城学院大学人間科学部芸術表現療法学科在学中は同ハープアンサンブル部のOGコーチとして後進の指導にあたられました。また、在学中にフォーレレクイエムのハーピストを務め、卒業後はハープアンサンブルの活動、カフェやマルシェ等での演奏、デイサービスなど福祉施設での演奏依頼に応えています。